

施設野菜におけるウイルス病を媒介する微小害虫の防除対策について

8月下旬現在、抑制トマトで黄化葉巻病の発生を確認している。
微小害虫（コナジラミ類、アザミウマ類等）により媒介されるウイルス病は、生育初期に感染すると被害が大きくなる。以下を参考に防除を徹底する。

〔防除対策〕

- ① ハウスの開口部に防虫ネットを設置し、ハウス内への飛び込みを防止する。なお防虫ネットを設置した場合、通気性が低下し、病害の発生が助長されたり、ハウス内の温度が高くなることが予想されるので、ダクト通風やサイドの開閉、遮光資材の利用等、温湿度管理に十分注意する。
- ② 雑草は微小害虫の生息場所となるため、ハウス内外の除草を徹底する。
- ③ 多発生すると防除が困難となるので、初期防除に努める。なお、黄色粘着板（コナジラミ類）や青色粘着板（アザミウマ類）の設置は、誘殺の他、発生動向の確認に利用できる。
- ④ ウイルスに感染した株は、伝染源となるため早期に抜き取り、ビニール袋等に入れて密封し、株を枯らしてから処分する。

表 微小害虫により媒介される主なウイルス病と感染作物

種類	主な媒介ウイルス名	主な感染作物
タバココナジラミ	トマト黄化葉巻ウイルス（TYLCV）	トマト
	ウリ類退緑黄化ウイルス（CCYV）	メロン、キュウリ、スイカ
タバココナジラミ、 オンシツコナジラミ	トマトクロロシスウイルス*（TOCV）	トマト
ミカンキイロアザミウマ	トマト黄化えそウイルス（TSWV）	トマト、ピーマン、ナス
	キク茎えそウイルス（CSNV）	トマト、ピーマン
ミナミキイロアザミウマ	トマト黄化えそウイルス（TSWV）	トマト、ピーマン、ナス
	メロン黄化えそウイルス（MYSV）	キュウリ、メロン、スイカ
ヒラズハナアザミウマ	トマト黄化えそウイルス（TSWV）	トマト、ピーマン、ナス
ネギアザミウマ	トマト黄化えそウイルス（TSWV）	トマト、ピーマン、ナス
	アイリスイエロースポットウイルス（IYSV）	ニラ、ネギ

※トマト黄化病の病原ウイルス